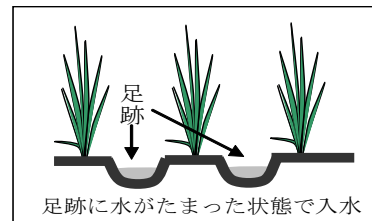


# 営農情報 7月号 水稻の栽培ポイント



## 1. 水管理

### (1) 間断かん水の実施

- 田植後1か月程度で必要茎数（1株当たり20本程度）が確保できたら間断かん水を行きましょう。
- 麦わらをすき込んだほ場については、わらが分解される際ガスが発生して、水稻の初期生育に影響を与えることがあるため、移植20～25日後から早めの間断かん水を行い、ガス抜きをしましょう。

## 2. 加里の追肥

### (1) 施用時期

- 出穂45～40日前（普通植とちぎの星：7月上～中旬、普通植あさひの夢：7月中旬）に加里を追肥すると、稲体を健全に保ち、根の活力を維持できます。特に、BBEKシリカを施用すると茎葉部を硬くし倒伏に対して強くなります。また、いもち病にかかりにくくなる効果もあります。

### (2) 施用量

- 加里成分で10a当たり4～5kgを施用します。

肥料の例	加里成分量	10a当たり施肥量（現物）
塩化加里（粒）	60%	7～8kg
BBEKシリカ	46%	10kg

## 3. 穂肥の施用

- 品種ごとの標準的な穂肥の時期と量は下表のとおりです。
- 葉色が濃すぎる場合は穂肥の量を減らすか、施用時期を遅らせます。

※基肥一発肥料（JA足利あさひの夢専用、とちぎの星専用など）を使用した場合は、極端に葉色が薄い場合を除き原則穂肥の必要はありません。

品種名	穂肥の時期	10a当たり施肥量（肥料の例）
とちぎの星	出穂の15日前（幼穂長20mm）	窒素成分2～3kg（NK-505号 15～20kg、NK-205号 10～15kg）
あさひの夢	出穂の20～18日前 （幼穂長5mm）	窒素成分2～3kg（NK-505号 15～20kg、NK-205号 10～15kg） ※NK-505号は出穂20日前と生育に応じて1回目の追肥から10日～穂揃い期までの2回に分けて施用する。
にじのきらめき	出穂の20日前（幼穂長5mm）	窒素成分3kg（NK-505号 20kg、NK-205号 15kg）

## 4. 病虫害対策

### いもち病

いもち病は、収量・品質に多大な被害をもたらす病気です。曇天・少日照・やや低い気温（25℃くらい）・高湿度などの条件で感染し易くなります。

感染に好適な気象条件が現れたら、ほ場の見回りをこまめに実施し、早い段階で発生状況（病斑）に応じて防除を行きましょう。

#### 【防除農薬の例】

令和8年6月4日時点の登録

農薬名	希釈倍率、散布量	使用時期	使用方法	使用回数	RACコード
ブラシフロアブル	300倍、25L/10a	収穫7日前まで	散布	2回以内	F:U14、F:16.1
	1,000倍、60～150L/10a				
アミスター トレボンSE	300倍、25L/10a	収穫14日前まで	散布	3回以内	I:3A、F:11
	1,000倍、60～150L/10a				

※ QoI 剤（アミスタートレボンSE等）は、耐性菌が出やすいため、使用は一作につき一回程度が望ましい。

※ 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

※ 空中散布は希釈散布量が異なりますので必ずラベルの表示を確認してください。

## 紋枯病

紋枯病は、高温多湿条件で発生しやすくなり、7月下旬頃から葉鞘部に楕円形の斑紋（淡緑色～灰色）を形成します。8月上旬頃から隣接株へ感染していき、出穂期後に上位葉へ病斑が上がってきます。

【防除農薬の例】

令和8年6月4日時点の登録

農薬名	希釈倍率、散布量	使用時期	使用方法	使用回数	RACコード
モンカット粒剤	3～4kg /10a	出穂 30～10 日前 但し収穫 14 日前まで	湛水散布	4 回以内	F:7
アミスター トレボン SE	300 倍、25 L /10a 1,000 倍、60～150 L /10a	収穫 14 日前まで	散布	3 回以内	I:3A、F:11

※農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

## 縞葉枯病

（あさひの夢、とちぎの星、にじのきらめき、夢あおば、月の光は抵抗性品種です。）

縞葉枯病は、ヒメトビウンカによって媒介され、葉に黄白色の縞状の病斑を形成し、分けつ期に弓状に垂れ下がった姿を示します。高温の影響でヒメトビウンカが増加した場合、発生拡大が懸念されます。

※箱施用剤を使用したほ場で本田防除を行う場合は、同一 RAC コードの連用を避けてください。

【防除農薬の例】

令和8年6月4日時点の登録

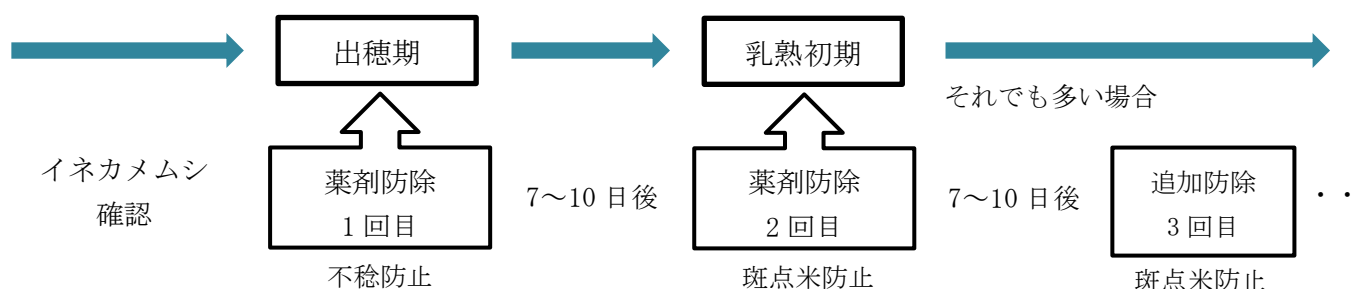
農薬名	希釈倍率、散布量	使用時期	使用方法	使用回数	RACコード
スタークル豆つぶ	250～500g /10a	収穫 7 日前まで	散布	3 回以内	I:4A
トレボンEW	300 倍、25L /10a 1,000 倍、60～150 L /10a	収穫 14 日前まで	散布	3 回以内	I:3A

※農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

## イネカメムシ

イネカメムシは水稻を加害して、「不稔」による減収や「基部斑点米」の発生による品質低下を引き起こす斑点米カメムシ類の一種です。被害を防止するためには、イネカメムシに対応した適期・適切な防除が必要です。

【防除対策 薬剤防除（出穂期以降）】



【防除農薬の例】

令和8年6月4日時点の登録

農薬名	希釈倍率、散布量	使用時期	使用方法	使用回数	RACコード
スミチオン乳剤	1,000 倍、60～150L/10a 300 倍、25L/10a	収穫 21 日前まで	散布	2 回以内	I:1B
キラップ フロアブル	1,000～2,000 倍、60～200L/10a 500 倍、25L/10a	収穫 14 日前まで	散布	2 回以内	I:2B
トレボンEW	1,000 倍、60～150L/10a	収穫 14 日前まで	散布	3 回以内	I:3A
スタークル 液剤 10	1,000 倍、60～150L/10a 300 倍、25L/10a	収穫 7 日前まで	散布	3 回以内	I:4A

※農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。